

【菜の花愛護会】お花見

川路菜の花愛護会(田畑 保廣 会長)は、4月19日(金)に「お花見の会」を開催しました。

この日は、天気予報を見た事務局の配慮により予定を1週間繰り上げての開催でした。

結果は、見事な快晴で最高のお花見日和になりました。

話題は、どうして今年の菜の花は見事に咲いたの? とか、車が走ったタイヤの跡に沿って育った菜の花は勢いが良かったよ・・・と言うことは、種を蒔いた後、踏んだほうが良いようだよ。との話が聞かれました。菜の花はたくましいですね。

また、今年の予定もしっかり確認でき有意義な会になりました。



菜の花のつながり いい顔です!



幾島館跡地の見事な菜の花

【初の免平地区農業振興課題検討会】開催

中島良彦会長は、川路まちづくり委員会の重点実施項目の一つである『農業振興』として、農業振興会議(関島道明 会長)と6区初の免平地区農業振興課題検討会を開催しました。

と き : 4月22日(月) 19時~

場 所 : 川路公民館

参加者 : まちづくり委員会会長 : 中島良彦さん 副会長 : 小木曾みどりさん 小林
農業振興会議会長 : 関島道明さん 副会長 : 中平正英さん
農業振興会議前会長 : 関島正憲さん 前副会長 : 塩澤美紀夫さん
地権者・耕作者の皆さん7名 自治振興センター所長 : 増田寿匡さん 計:15名

ようす :

地権者・耕作者の皆さんから、5年後、10年後の後継者はいるか、後継者の目処は立っているか、また課題について、報告・意見交換をしました。

主な意見

- ・自分での耕作は難しい、後継者の目処が立っていない 草を刈るだけになっている
- ・自分で耕作を継続できる
- ・耕作を希望する人がいれば土地を売却または貸与したい
- ・自分の土地は近所に迷惑をかけないよう

うに管理をしたい(除草、雑木)

- ・今後は農業をやりたい人を中心に進めたらよいのでは
- ・土地の有効活用を考えたら良いのでは
- ・家庭菜園付き宅地にできないか → 傾斜地がネックとの意見も

今後について

- ・今後も地権者、耕作者の方々の意見をお聞きし、農業振興会議と協力して進めていきます

初の免平! 景観抜群!
一度行ってみましょう



【令和6年度 川路まちづくり委員会総会】開催

去る4月27日（土）午後6時から、川路公民館に於いて令和6年度川路まちづくり委員会総会が開催されました。

中島良彦会長から令和5年度の総括として、「みんなで支える豊かな川路」の実現を図るべく、具体的な施策を立案し、活動を推進してきた。そして、計画した活動は全てスタートした。しかし、それぞれに課題は多く、期待した成果を十分発揮できなかった。

残された後半の1年で役員負担を考慮しつつ期待された成果を出せるように進めていくと報告がありました。



議長：2区副区長 清水 茂さん
3区副区長 長谷部 功三さん

その後、

事業の柱Ⅰ：第2次川路基本構想実現の為に重点実施事項(5項目)
事業の柱Ⅱ：川路を豊かにする継続事業(13項目)について概要報告がされました。

そして、各委員長からの事業報告(林 晴彦：安全推進委員長 市瀬あつ子：健康福祉委員長 塩澤 茂治：環境保全委員長 熊谷 直樹：教育育成委員長 江口 正浩：公民館長)があり、塩澤 明美：会計から決算報告がされました。



会計監査報告は、今村正大監事からされました。

令和5年度事業の主なトピックス

- ① 川路フォーラムでハザードマップレベル2のリスク低減が聞かれたが、その検証が必要になった。
- ② 第1回川路地区防災大会を開催した。
- ③ 若い世帯移住促進委員会を設立し「移住促進リーフレット」を作成した。
- ④ ニタ井、初の免平地区で農業振興課題検討会を開いて、地域農業の将来計画を検討した。
- ⑤ 里山整備委員会の事業で学友林、メガソーラー歩道の整備を実施し保育園から感謝された。
- ⑥ 6月に川路まちづくり委員会が「認可地縁団体」として認可された。
- ⑦ 柔道場跡地を利用した感環自然村の「子ども第三の居場所」は不採択で次年度再申請となった。
- ⑧ ホームページ委員会では、各区女性代表の活躍によりホームページが充実された。
- ⑨ 第1回川路地区福祉大会を開催した。
- ⑩ 「春めき桜愛護会」を設立した。
- ⑪ 緩やかなウォーキング運動を推進、次年度は年間を通しての運動につなげます。
- ⑫ 川路の宝写真コンテストと川路まちづくりカレンダーを制作し、川路地区及び川路出身者に配布。
- ⑬ 子どもだけではなく大人にも人気の「川路探検」は7区で実施。次年度は8区で計画。
- ⑭ 地区伝統行事の伝承では、どんど焼きを継承することの確認ができた。次年度では、「おんべ情報交換会」として継続する。

中島良彦会長から、令和6年度事業計画案が報告され、第2次川路基本構想2年目の年として「みんなで支える豊かな川路」の実現を継続して図る。その為に、令和5年度にスタートした具体的な施策を継続して実行し、2年目の節目の年を意識して、ある程度目に見えた成果が出るようにしたいと説明されました。

令和6年度の新しい取り組みに、白地内耕作放棄地の宅地化推進があります。これは、移住促進に向け、宅地・農地混在エリア（白地）内の耕作放棄地に関し宅地への転換を推進するものです。

つづいて、令和6年度予算案の説明が塩澤明美会計からされて承認されました。